

暮らす 仁木町

北海道仁木町
移住ガイド

仁木町

小樽市

札幌市

ニセコ町

新千歳空港



住み続けられるまちへ ひとりひとりの小さな行動により 大きな変革を

私自身も仁木町への移住者です。
まちが一望できるような丘などに登ってみると、
のどかな果樹畑など美しい風景が望め、
仁木町が非常に魅力的なまちだとご理解いただけると思います。
仁木町では毎年、新規就農者を受け入れており、行政や農協・生産者など、
みんなで支える体制を整えています。
また、住宅や子育てに関しても手厚い支援を行っています。
最近では、ワイン造りに関わる方に多く移住してきていただいておりますが、
これからは、クリエイターなど、仁木町に更なる展開を生んでくれるような方にも
移住してきていただけたらと期待をしています。
新しい力や革新的なアイデアを取り入れてこそ、
将来的な魅力にもつながっていくと考えておりますので、
ぜひ、実際に仁木町の魅力を体感いただき、
移住をご検討いただければ幸いです。

仁木町長
佐藤 聖一郎

地域の子どもたちとその家族が 安心して生活できる環境を目指して

t
o
p
i
c
s

仁木町では、子どもたちの居場所づくりや子育て世代への支援事業を促進するために、仁木町すこやか子育て支援センター「ikor-イコロ」を2024年3月に供用開始しました。地域の子育て世代を支援するために、妊娠から子育てまで切れ目なく支援することを目的としています。



近年相次ぐ企業進出による発展

t
o
p
i
c
s

仁木町は果樹栽培に適した気候と立地に恵まれており、ワイン用のぶどう栽培も盛んです。近年はワイナリーの集積が進み、くだものとワインの町としてのブランド化が進行しています。その他、隣接する余市町との連携による「余市・仁木ワインツーリズムプロジェクト」も進行中です。仁木町の特徴を活かしながら、地域経済の発展に寄与する企業の進出により、仁木町の注目度も高まっています。



先輩移住者たちから集めました! 仁木町移住の押しPOINT

実際に仁木町に移住されてきた先輩移住者から、
仁木町での就農や子育てに関する支援制度、
住環境についてなど、魅力的だと感じたポイントをお伺いしました!



押し① 魅力的な支援制度

住宅建設への補助

「仁木町定住促進新築住宅取得補助金」
を活用して、家を建てました。
1,000万円以上の住宅取得時に上限200万
円の支援を受けることができます。

◎工藤さん押しPOINT!



高校3年生に相当する18歳 までの医療費の助成

高校3年生までの医療費の助成をはじめ、子育
て世帯への経済支援やサポートは、他の自治
体と比べても、とても良い環境だと感じています。

◎工藤さん押しPOINT!



農家に対する支援

新規で住宅を取得する際の補助金や、農業
に従事する人のための支援金など、住宅や就
農に関する支援が充実しています。

◎西山さん押しPOINT!



押し② 家族でのびのび暮らせる子育て環境

仁木町すこやか子育て 支援センター「ikor-イコロ」

2024年には、保育園や放課後児童クラブを含ん
だ施設である、仁木町すこやか子育て支援セン
ター「ikor-イコロ」が供用開始し、子どもたちは年
齢関係なく、みんな仲良く遊んでいます。

◎工藤さん押しPOINT!

2024年3月供用開始。
仁木町の「宝物」である
子どもたちの拠点として。

2024年3月に町の子育て支援拠点施設「ikor-イ
コロ」が完成しました。「イコロ」とはアイスの言葉で
「宝物」を意味しており、仁木町の宝物である子ど
もたちがのびのびと安全に過ごせる施設として運営
しています。

ikor-イコロは保育園のほか、放課後児童クラブ、
小型児童館、地域子育て支援拠点「おおきな木」
を併設しています。子どもたちが自由に遊んだり、子
育ての情報を得られる交流の場として利用されて
います。



海も山も近く、 自然に溢れた環境

自然に溢れた環境というのは、都会
にはなかなかありません。子どもは畑を
走り回っているだけでも楽しそうだし、
仁木町の豊かな自然の中で、のびの
びと暮らせる環境は、とても良いものだ
と思っています。◎西山さん押しPOINT!



押し③ 新規就農・ワイン造りに適した土地柄



農家さんの温かい協力に 感謝しています

広い農地を取得できる可能性が高く、良いぶ
どうを収穫できる気候であることや新規就農者
に対する支援が厚く、周りの農家さんが非常に
協力的で、温かく受け入れてくれる環境があっ
たことから、仁木町での就農を決めました。

◎鈴木さん押しPOINT!

新規就農に関する豊富な 支援制度に助けられました

農業をやりたい人にとっては、仁木町は非常に
良い町だと思います。買い手のついていない畑
はまだまだあるし、新規就農については、支援
制度もたくさんあります。仁木町の農家さんは
非常に温かく、いろいろなことを教えてくれます。

◎山口さん押しPOINT!

先輩就農者の声

生産組合の大先輩がたびたび様子
を見に来て指導してくれたり、心配して
くれていたと思う。生産組合の皆さんに
は、心から感謝しています。

これから新たに農業を始める方は、不
安と期待が入り混じっているとは思いま
すが、まずは自分で見て歩く。そして先
輩農家さんの苦労話等々を聞き、情
報を収集することが大事なことだと思
います。

就農後も先輩農家の方々との出会
いが続き、農業技術以外の面でも大きな
支えになっています。

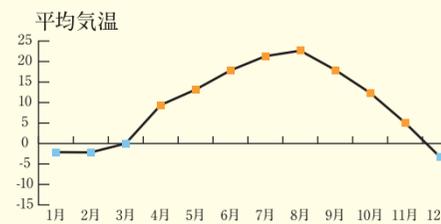
農業を始めるには、最初に合う「先
生」が大事ですが、役場や農協の方
が親切に調整をしてくれました。

仁木町には、農家が受け入れて指導し
てくれる研修制度があり、農家として独立
ができることを知り、仁木町を選びました。
研修中も辛いと思ったことはありません。

仁木町の四季

仁木町は余市町を隔てて石狩湾に面しており、対馬暖流の影響を受け四季を通じて温暖多湿です。
また、周囲を山々に囲まれているため風も弱く過ごしやすい地域です。
根雪期間は短く、霜も少ないので農作物の栽培に適しています。

仁木町は
作物の栽培に
非常に恵まれた
気候です!



積雪量 (月末時点) (cm)

年	仁木地区			銀山地区		
	1月	2月	3月	1月	2月	3月
2020年	16	50	0	26	51	0
2021年	76	92	0	135	155	48
2022年	94	98	36	145	138	68
2023年	81	112	0	155	175	29
2024年	281	169	116	320	134	80

気象概要

月	気温(℃)			降水量 mm	最大積雪 cm	平均風速 m/s
	平均	最高	最低			
令和6年	9.4	33.5	-14.5	107.5	133	2.5
1	-2.0	5.8	-14.5	226.5	126	2.7
2	-1.9	13.8	-11.0	62.5	133	2.8
3	0.0	11.2	-10.3	64.0	89	2.9
4	9.1	26.2	-3.6	28.0	30	3.0
5	13.2	25.2	0.8	76.5	0	3.2
6	17.8	30.3	6.4	22.0	0	2.2
7	22.0	33.5	10.8	190.0	0	2.2
8	23.1	32.4	15.5	138.0	0	1.8
9	18.1	28.4	7.6	77.5	0	2.3
10	12.3	24.2	0.9	165.5	0	2.3
11	5.1	17.1	-5.4	161.5	9	2.6
12	-3.6	8.4	-11.6	78.0	42	1.9

移住者の ストーリー 02

ワイン造りのために
地域おこし協力隊として
移住。
仁木町をワインで
魅力ある町に

North Creek Farm
〒048-2406 余市郡仁木町西町11丁目10番地

プロフィール

鈴木正光さん 綾子さん
正光さんは静岡県出身、綾子さんは東京都出身



仁木町に移住したきっかけを
教えてください。

ワインを造るために、2019年に地域おこし協力隊として仁木町に移住しました。仁木町に来る前は神奈川県川崎市に住んでいましたが、ワイン造りに興味があり、岩見沢市にあるワイナリーで2年間の醸造研修を受けたほか、長野県の「千曲川ワインアカデミー」にも通い、卒業しました。

ワイン造りの場として、仁木町を選んだ理由を教えてください。

醸造用ぶどうの産地である、長野県・山梨県・山形県などのエリアも検討したのですが、広い農地を取得できる可能性が高く、良いぶどうを収穫できる気候であることから、北海道でのワイン造りを決めました。道内も何か所か回りましたが、中でも新規就農者に対する支援が厚く、周りの農家さんが非常に協力的で、温かく受け入れてくれる環境があったことから、仁木町に決めました。

現在のお仕事について
教えてください。

「North Creek Farm」を運営しています。畑の広さは2.3haで、そのうちぶどうを植えているのは1.7ha。黒ぶどうはピノ・ワールとメルロー、白ぶどうはゲヴュルツトラミネール、ケルナー、ピノ・グリ、ソービニオンブラン、シャルドネの計7種を栽培しています。2023年に初めてリリースしたワインは、十分選果した質の高いぶどうを野生酵母で発酵させ、酸化防止剤の添加も極力控えつつ、ナチュラルなワインに仕上げました。2023年秋に醸造所が完成し、2024年夏に酒造免許を取得したので、今後は、醸造はもちろん、ワインが飲める休憩スペースも

作っていたら良いなと思っています。

今後、仁木町に移住を考えている方へのメッセージをお願いします。

仁木町は自然が豊かで、海も近い。高速道路のインターチェンジができることで、都市部へのアクセスも良くなり、札幌市にも1時間程度で行けるようになっています。移住支援は他の自治体よりも手厚いと感じています。周りの農家さんは新規就農者である私たちを非常に温かく受け入れてくださり、色々と指導もいただきました。今後は、自身のフラッグシップワインを作り上げながら、イベント等も積極的に参加して、仁木町が「ワインのまち」としてもっと広く知られるようになると良いなと思っています。ワイン造りを考えている方にとっては、仁木町は非常に良い町だと思いますのでぜひ一度訪れてみてほしいですね。



仁木町に移住したきっかけを
教えてください。

仁木町に移住する前は札幌市で大工をしていたのですが、妻の実家が農家をしており、「後継者として農家をやらないか」という話をもらったため、仁木町への移住を決意しました。大工の仕事が休みのときには農業の手伝いをしたこともあり、農業には興味がありました。

現在のお仕事について
教えてください。

ミニトマト、さくらんぼ、ブルーンの栽培を行っています。手をかけるほどおいしい作物が育つてくれて、努力が実を結んでいると感じています。アイデアを畑にそそぎ、耕し、変えることを恐れず、私たちがらしく、ワクワクする農業を行いたいと思っています。将来的には、トマトを使用したカレーの生産も考えていて、仁木町で飲食店を開きたいという夢も持っています。

仁木町の移住や子育てに関する
支援はいかがですか？

新規で住宅を取得する際の補助金や、農業に従事する方への支援金など、家や就農に関する支援はもちろん、子育てに関する支援も色々いただいています。サポートが充実していることで、不安なく農業や子育てを行うことができます。

仁木町の子育て環境は
いかがですか？

妻が「子どもを育てるなら、自分が生まれた自然豊かな仁木町で育てたい」と考えていました。両親が農家なので、家に帰ると誰かが迎えてくれるという環境が子どもの頃にあったといいます。家族が家にいるというのは、



子どもにとつて良い環境です。親が仕事をしている姿を子どもに見せられるというのも、非常に意味のあることだと考えています。また、少子化で子どもの数は少なくなっていますが、少ないからこそその良さもあります。インターネットやSNSの発展で、都会と田舎の差も小さくなってきているように感じています。

今後、仁木町に移住を考えている方へのメッセージをお願いします。

自然に溢れた環境というのは、やはり良いものだなと思います。子どもは畑を走り回っているだけでも楽しそうだし、札幌市などの都会にはない環境だと思います。私自身は、札幌市でコンクリートに囲まれて過ごしてきましたが、やっぱり自然や農業のほうに肌が合っていました。先輩農家のみなさんも色々なことを教えてくれるし、まわりの人たちもみんな温かい。高速道路の開通でより生活が便利になるので、特に、新規就農を考えている方には、仁木町への移住をおすすめしたいですね。

移住者の ストーリー 01

自然豊かな仁木町で
親の背中を見ながら、
のびのびと育ててほしい

プロフィール

西山 慎吾さん 由香里さん
5歳と2024年12月に出産した2人目のお子さんの
4人家族。
慎吾さんは札幌市出身、由香里さんは仁木町出身。



移住者の
ストーリー
03

家を建てるなら
生まれ育った仁木町で。
地元愛に溢れ、
家族でUターンを決意

プロフィール

工藤 宏樹さん 千尋さん
4歳、2歳、1歳のお子さんの5人家族
宏樹さんは仁木町出身、千尋さんは小樽市出身。



仁木町の子育て環境は
いかがですか？
2024年には、保育園や放課後児童ク
ラブを含んだ施設である、仁木町こやか子
育て支援センター「ikori」が新た

仁木町の子育てに関する
支援はいかがですか？
高校3年生までの医療費の助成をはじ
め、子育て世帯への経済支援やサポートは、他
の自治体と比べても、とても良い制度だと感
じています。3人目の出産のときには、町から
出産祝いとして10万円が支給されました
し、妊産婦健診に関する費用については、健
診費用のほか、交通費の一部が助成されるな
ど、非常に手厚い支援だと思います。

家を建てるときに仁木町の支援制度は利
用されましたか？
「仁木町定住促進新築住宅取得補助
金」を活用して、家を建てました。1000
万円以上の住宅取得時に上限200万円の
の支援を受けることができます。移住者、子
育て世帯、若年世帯のいずれかに該当するこ
とや、仁木町に5年以上定住することなど、
色々と条件はあるのですが、補助対象とな
り、200万円の交付を受けることができま
した。

仁木町に移住したきっかけを
教えてください。
もともと仁木町出身なのですが、仕事の
関係で余市町に住みました。結婚をし、子ど
ももできたので、家を建てることにしたです
が、家を建てるならやっぱり生まれ育った仁木
町が良いと考え、Uターンで仁木町に帰ってき
ました。



今後、仁木町に移住を考えている方への
メッセージをお願いします。
私の場合、もともと仁木町出身だったの
で、知人・友人も多く、地元が好きという想
いも強く持っていました。地元の高層目(ひいき
め)もあるかもしれませんが、仁木町はとても
良い町だと思います。なにより自然が豊かで、
子どもたちのびのびと育っていると思いま
す。高速道路が仁木町まで延伸し、仁木イン
ターチェンジができたことにより、都市部へのア
クセスもさらに良くなるので、子育て世代に
は、とても住みやすく、子育てしやすい環境だ
と思います。

移住者の
ストーリー
04

仁木町で
やりたいことだらけ。
地元で買える
カジュアルワインも製造

仁木産業振興社
〒048-2405 余市郡仁木町北町8丁目9番地3

プロフィール

山口光市さん
北海道長沼町出身



現在のお仕事について
教えてください。
2024年1月に畑を購入しました。栽
培しているのは、さくらんぼブルーン、りんご、
なし、桃、梅などです。果樹の畑を持つという
夢が叶いました。果樹の畑が落ち着いたら、
野菜の畑を買わないかという話もしていた
ているので、それもやりたいですし、福光さん
と造っているワインも、2025年は
3000本くらい造ることができると予定
です。ワインと自身の果樹を使ったサングリアも
作ってみたいですし、仁木町で飲食店を開く
という夢も持っています。畑を買ったばかりで
すが、仁木町ではやりたいことばかり。色々と

仁木町に移住したきっかけを
教えてください。
57歳のときに、定年後は果樹の畑をやりな
がら暮らしたいと考え、移住先を探しまし
た。最初に移住先として検討したのは、仁木
町と余市町。そのときは住む家がなく、一度諦
めましたが、その後、仁木町の観光協会事務
局長になることが決まっていた福光さんとの
出会いをきっかけに、地域おこし協力隊に応
募し、仁木町に移住することになりました。
ワイン造りも行っている
伺いました。
「ワインのまち仁木町のワインが地元の酒
屋で買えない」という声があり、地域おこし協
力隊で一緒に作った福光さんたちと合同会社
仁木産業振興社を立ち上げ、地元で買える
ワイン造りを始めました。初年度はパフファ
ロー種を使ったロゼ・スパークリングと、ポトラ
ンド種を使った白スパークリングの2種類を
製造し、近隣町村の酒販店や仁木町観光管
理センターなどで販売しました。

今後、仁木町に移住を考えている方への
メッセージをお願いします。
農業をやりたい人にとっては、仁木町は非
常に良い町だと思います。仁木町の課題とし
て買い手のついていない畑はまだあるし、
新規就農については、支援制度もたくさんあ
ります。また、仁木町の農家さんは非常に温
かく、いろいろなことを教えてくれます。まず
は一度来てみてほしいですね！実際に仁木町
をみて、移住を検討してほしいと思います。



挑戦していきたいと考えています。

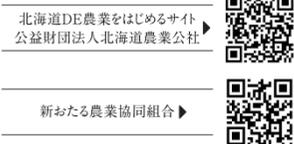
仁木町の暮らし 就農までの流れ

仁木町は、温暖で恵まれた気候風土から、米や様々なくだもの、野菜が生産されています。
特色ある農業が展開されている仁木町で、皆さんと一緒に活躍してみませんか。

flow
1

就農ビジョンの明確化

自分が行いたい農業のビジョンを考えましょう。
「何をどのくらい作りたいのか?」「従業員の規模は?」「目指す収入は?」などを考えるに当たり、インターネット・書籍などで情報を収集しましょう。
また、「就農時に使えるお金はいくらくらいか?」「家族等の理解は得られているか?」など、ご自身の状況も併せて整理しましょう。



flow
2

就農相談

自分の考えがまとまったら、町へ相談してみよう。
仁木町では「仁木町新規就農受入協議会」を組織し、新規就農を目指す人をバックアップしています。
そこで、目指す農業が仁木町の農業とマッチするか、就農に向けての具体的なスケジュール、就農準備として足りないもの等のアドバイスなどを行います。

相談先:仁木町産業課農政係 〒048-2492 北海道余市郡仁木町西町1丁目36番地1
TEL:0135-32-2515 / FAX:0135-32-2648

flow
3

農地情報の収集

仁木町公式ホームページから、農地情報などをチェックし情報収集をしましょう。
お問い合わせ先:仁木町農業委員会 〒048-2492 北海道余市郡仁木町西町1丁目36番地1
TEL:0135-32-3952 / FAX:0135-32-2648



その他

仁木町新規就農受入協議会では、新規就農フェアへの出展や農業体験セミナーなどを開催しています。
農業体験セミナーでは、1泊2日で実際に農家さんのところで農業体験を行い、先輩新規就農者や先輩農業者、農業委員との交流も行います。
そこでしか得られない情報などもあるかと思しますので、是非ご参加ください。

仁木町の暮らし 新規就農支援

仁木町では、新規就農者に対して下記の支援をおこなっています。
豊富な支援制度を是非ご活用ください

農業担い手育成支援制度

仁木町居住 農地取得1年後
農業後継者として居住 農業従事5年後

50歳未満で新たに農業経営を開始し、仁木町に居住し農地を取得後1年経過した方に50万円を支給いたします。
50歳未満の方が農業後継者として仁木町に居住し、農業に従事して5年経過した方に50万円を支給いたします。

50万円 50万円

居住開始 1年後 2年後 3年後 4年後 5年後



仁木町新規就農者 支援事業奨励金交付

新たに農業を開始する目的で仁木町に居住し、農地取得後1年を経過し引き続き農業を行う方に助成します(農業担い手育成支援制度対象者を除く)。



0.1ha~0.3ha 未満の農地取得の場合
0.3ha以上 農地取得の場合

10万円 20万円



農業次世代人材投資事業

50歳未満を対象に年間最大150万円(最長3年間)の給付金を受け取ることができます。

年間最大 150万円 最長3年間

新規就農者施設園芸促進ハウス新設補助事業 新規就農者果樹ハウス新設補助事業

施設野菜や果樹のパイプハウスを新設する新規就農者に対し、事業実施主体である新おたる農業協同組合を経由して

最大2分の1
を支援します。



ご希望の
営農条件に合った
お手伝いをいたします!
お気軽に
ご相談ください。

仁木町の代表的な作物



ミニトマト

👑ミニトマトの収穫量北海道第1位!

果樹生産で培った高度な栽培技術を活かし、近年ではミニトマトの作付けが拡大しており、北海道第1位の作付面積・収穫量を誇っています。その甘みと酸味のある豊かな味わいは、全国から注目を集めています。



2018年に完成したJA新おたるのミニトマト集出荷貯蔵施設では、選果機で大きさや色、傷だけでなく、糖度などを測定することで、効率よく食味のいいミニトマトを出荷できるようになりました。選果機導入前は出荷されるミニトマトの殆どが生産者による個別選果で、それに係るコスト(労働力不足・人件費)が大きな課題となっていましたが、こうした最新の機器により、省力化・省人化を図っています。



米

大江地区、銀山地区を中心にミネラルを含む沖積土壌の田園が広がり、良質なお米が収穫されます。「銀山産ゆめぴりか」がANA国際線ビジネスクラス(日本発欧米路線)の機内食に採用されるなど、良食味米の産地として高い評価をいただいています。



くだもの

👑さくらんぼ栽培面積北海道第1位!

恵まれた気候条件や立地を生かし、古くから余市町とともに果樹の生産が盛んで、さくらんぼの作付面積・収穫量は北海道第1位となっています。また、近年では、シャインマスカットの生産にも力を入れており「La・La・shine」としてブランド化し、栽培技術の高位平準化に向けた活動にも取り組んでいます。

仁木町の暮らし 子育て支援制度



仁木町では、出産前からお子様が成人するまでの各時期に応じて、様々な支援を実施しています。
2024年には、保育園や小型児童館などを併設した新施設も完成し、
お子様が安心して楽しく過ごせるような町を目指しています。



妊娠前

● 不妊治療費・先進医療費の助成

不妊治療を受けている方に治療費の一部を助成します。

妊娠期

● 妊産婦健診費用の助成

妊娠から産後までに必要な妊産婦健康診査(妊婦健診14回、超音波検査11回、産婦健診2回)費用の一部を助成します。

● 妊産婦健診、分娩の交通費の助成

妊娠から産後までに必要な妊産婦健康診査に係る交通費の一部を助成します。

● 母親学級

妊娠5か月～8か月の妊婦と参加を希望する配偶者を対象に、保健師、助産師、栄養士による妊娠・出産・産後・育児に対する講話や実技、調理実習を無料で行います。

乳幼児期

● 新生児聴覚検査費用の助成

新生児に対する聴覚検査費用を助成します。

● 産後ケア教室

産後の母親を対象に、助産師、栄養士、ベビーマッサージ師が講話や実技指導を無料で行います。

● 離乳食教室

離乳食初期から後期の保護者を対象に、離乳食の進め方についての講話や作り方の実習を無料で行います。

● 医療費助成

乳幼児期から高校3年生に相当する18歳まで、医療費の一部負担金の全額(食事代等は除く)を助成します。

● 出産祝金

3人目以降のお子様が生れた方に対して、祝金10万円を支給します。

● 保育料の負担軽減

町独自で国の基準よりも保育料を低く設定しているほか、多子世帯の保育料を軽減します(※3歳から5歳までの保育所、幼稚園、認定こども園等の利用料は無料です)。

● チャイルドシート購入助成

6歳未満の幼児がいる保護者に、チャイルドシート購入にかかった費用の半額を助成します(上限額あり)。

● ブックスタート事業

6か月児と1歳6か月児の乳幼児健診の際に、絵本を2冊贈呈します。

● 親子向け料理教室

幼児とその保護者を対象に、食に対する知識の学習、食への大切さや楽しさを学ぶための調理実習を無料で行います。

● 発達相談

育児に関する困り感をもつ保護者や、発達が気になる乳児から成人までの方とその保護者を対象に、臨床心理士による相談を無料で実施します。

● インフルエンザワクチン接種費用の助成

満1歳以上の方は、インフルエンザワクチンを1回1,000円で受けることができます(経鼻ワクチンは2,000円)。

小学校・中学校

● 学校給食の無償化

小中学生児童生徒の給食費を無償化しています。

● 仁木町子ども体験塾

様々な体験ができる講座を企画し、子どもたちの体力向上や見識を広めるとともに、地域との交流や友情と親睦を図ることを目的として、5月から翌年3月まで講座を無料で開催しています(一部材料費等の負担あり)。

● 日本スポーツ振興センター掛金助成

日本スポーツ振興センター掛金を全額助成します。

● 各種大会参加経費助成

文化・スポーツ等の全道・全国大会の参加費、宿泊費、交通費を一部助成します。

● 放課後児童クラブの無償化

放課後児童クラブ利用料を無償化しています。

高校

● 高等学校生徒通学費等補助金

仁木町に住居登録している生徒の通学費(定額)又は通学費負担者が仁木町に住居登録している場合の生徒の下宿費(半額)を補助します。

仁木町子ども体験塾



仁木町では、子どもの「生きる力」と「ふるさと仁木」への愛着や誇りを醸成するため、地域との交流や友情と親睦を深めることができる様々な講座を開催しています。

仁木町スポーツ少年団本部



仁木町スポーツ少年団本部では、スポーツを通じて少年の心身を鍛練するために、定期的にスポーツフェスタを実施しているほか、全町のスポーツ少年団の育成に取り組んでいます。各スポーツ少年団では、日々の練習のほか、地域の大会などにも積極的に参加し、技術の向上とチームワークの強化に努めています。

仁木町の高齢者支援制度

仁木町では高齢者を対象とした様々な独自サービスを行っています。
高齢者ならではの不安や緊急事態に備えて、下記の支援事業を設けています。

住まいの不安

ふれあい収集事業

高齢や障がい等の理由により、家庭廃棄物の排出が常時困難である方に対し、戸別に訪問し無料でごみの収集を行います。

家族介護支援特別事業

要介護4、5の高齢者と同居し、在宅で介護されている町民税非課税世帯を対象に、オムツなどの介護用品の購入助成券を交付します（支給限度額月額8,350円）。

除雪サービス事業

高齢者の世帯で除雪が困難な方を対象に、玄関から公道まで1メートル程度の幅で除雪を実施します（1回290円）。

外出支援サービス事業

介護保険で自立又は要支援と判断され、公共交通機関の利用が困難な利用者を対象に、病院や福祉サービス施設、基本的日常生活に必要な買い物等への送迎を実施します（自宅から余市町までを限度に月2回まで片道290円）。

配食サービス事業

高齢者のみの世帯で、調理が困難、栄養改善が必要な高齢者に対し、夕食（お弁当）の配食を実施します（週1～5回1食400円）。

病気の予防

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の助成

- 当該年度に65歳になる方や、60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する方を対象に自己負担額2,700円を助成します。
- 満65歳以上の方のうち、予防接種法に基づく定期対象者以外の方に対し、自己負担額3,600円を助成します。

いきがいの支援

高齢者教育

仁木町内に住所を有している高齢者を対象に、各種文化・軽スポーツ事業を無料で開催しています。

長寿祝金

仁木町に20年以上住所を有している満100歳に達した方に対して、祝金10万円を支給します。

生きがい活動支援通所事業

介護保険で自立と判断された、ひとり暮らし又は家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、デイサービスセンターにおいて入浴や日常生活訓練、趣味活動などのサービスを有料で提供します。

緊急事態に備えて

ハートコール事業

高齢者の世帯に週2～3回電話をし、安否確認や相談対応を無料で実施します。

緊急通報サービス事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯で、身体が病弱なため緊急時に機敏に行動することが困難な方等を対象に、緊急事態を簡単に通報できる安否センサー（玄関・居間・寝室）を無料で貸し出し、24時間体制で見守りを実施します。

お問い合わせ先

仁木町福祉課介護保険係
TEL:0135-32-2514

仁木町地域包括支援センター
TEL:0135-32-3855

仁木町でのゆたかな暮らし

仁木町内には、町営住宅や民間アパート等の賃貸物件があるほか、
定住を希望される方を対象とした住宅の新築又は改修の支援制度を設けています。

住宅支援制度

新築住宅取得への補助

新築又は建売住宅を購入する移住者や中学生以下の子どもがいる子育て世帯、50歳以下の若年世帯に200万円を補助します。

（※取得価格1,000万円以上など諸要件を満たす必要あり）

住宅改修への補助

自らが所有又は居住する予定の住宅を改修する移住者や中学生以下の子どもがいる子育て世帯、50歳以下の若年世帯に100万円を補助します。

（※改修費用500万円以上など諸要件を満たす必要あり）

合併処理浄化槽の設置への補助

新たに合併処理浄化槽を設置しようとする方、既存の単独処理浄化槽を撤去して新たに合併処理浄化槽を設置しようとする方に補助します。
【補助限度額】5人槽:959,000円、6～7人槽:1,105,000円、8～10人槽:1,356,000円

新築や
建売住宅の購入、
住宅リフォームの助成を
実施しています!

人との交流が深まる、
どなたでも
利用しやすい
公共施設です!

仁木町民の便利な暮らし

仁木町の住宅情報はこちら

町営住宅
情報▶



民間住宅
情報▶



ニキバス

ニキバスは、仁木町が主体となって運営しているコミュニティバスです。仁木町住民の足として町民はもちろん、町外からの旅行者も利用可能です。銀山駅への足としても役立つ公共交通機関です。

利用方法等はこちら▶



いきいき88

公衆浴場・集会施設です。健康増進や町民同士のふれあいと交流との場として利用されています。

仁木町北町1丁目88番地1
TEL:0135-32-2650
利用時間:10:00-21:00
（入浴時間14:00-20:30）
休館日:毎週月曜日



図書室

仁木町役場に併設されている町民センター内の図書室。町民以外の方もご利用いただける施設です。

仁木町西町1丁目36番地1
TEL:0135-32-3958
利用時間
【火～金】9:00～21:00
【土日祝】9:00～17:00
休館日:毎週月曜日及び
12/30～翌1/5



山村開発センター

どなたでもご利用いただける仁木町の体育施設です。スポーツ活動は、中学生以下は無料、高校生は50円、一般の方は100円で1日1回ご利用いただけます。

仁木町西町1丁目52番地2
TEL:0135-32-3622
利用時間:9:00-22:00
休館日:毎週月曜日及び
12/30～翌1/5